

●障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
●ケアホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地 TEL・FAX 087(888)2557

●発行/社会福祉法人ポムドパン
●発行日/2013年9月30日



ウインドヒルでは今年から水墨画にチャレンジしています。毎月第2・3木曜日、講師の稲井先生にお越し頂き、墨の持つ独特の温かさを活かした作品を描いています。

10月27日(日)は第8回地域とのつどいです。今年は音楽教室の他、1年間練習してきた社交ダンスも披露します。掲示物はみんなで描いた作品や新たにチャレンジしている水墨画も展示します。その他ウインドヒル、ケアホーム風見の家の活動写真や知的障害や自閉症についてたくさん知ってもらえるよう啓発パネルも用意しました。

また毎回お世話になっている『にゃー倶楽部』(香南鉄筋の藤本社長さんが声掛けし、毎年地域とのつどいにご賛同、ご協力して頂いている皆さまです。)さまが今年も盛大な食バザーを開いて下さいます。その他ゲストによるサクソ演奏やエイサー太鼓の披露など見どころ満載です。

利用者、職員一同、まごころ込め作ったお土産を用意して、たくさんの皆さまのご来所をお待ちしています。10月27日はお誘い合わせのうえウインドヒルに是非お越し下さい。

ウインドヒル・ケアホーム風見の家の主な行事報告

三谷保育所夏祭り



7月13日、地元の三谷保育所の夏祭りに、ウインドヒルのブースを出展させて頂く機会に恵まれました。園児さん、保護者の方と交流し、自閉症を正しく理解していただくための啓発活動やウインドヒルの広報活動を行いました。

地域交流バーベキュー



6月1日、地元通谷西自治会やリフレッシュクラブの皆さまをお招きし、バーベキューを行いました。ボランティアさんや保護者の方などを合わせ、総勢約150名の方がウインドヒルにお越し頂き、大いに盛り上がりました。バーベキューの後はリフレッシュクラブの小野川先生と一緒にみんなでリフレッシュ体操を行いました。

フライングディスク大会



香川県知的障害者福祉協会主催のフライングディスク大会に参加しました。ウインドヒルでも日々フライングディスクの練習に取り組み、日頃の練習の成果をいかに発揮していました。

地元通谷西自主防災会と災害応援協定を締結



7月17日、地元通谷西自主防災会と災害応援協定を締結しました。私どもポム・ド・パンは通谷西地区に拠点を置き、地域に開かれた施設等の運営と、地域の発展に寄与する事を目指しています。ウインドヒルの地域交流棟は災害時の避難場所として利用が可能であり、今後の災害発生時に備え、相互で協力できる体制を整えておく事が必要との意見が出され、今回の災害応援協定の締結に至りました。

外食行事



8月6日、27日、グループに分れて香川町にある『和幸』さんに行きました。参加した利用者の皆さんは美味しい食事を頂いたあと、カラオケを楽しみました。また公共の場でのマナーなども楽しみながら学びました。

第1回保護者と共に交流棟運動会



7月23日(火) 地域交流棟で、第1回保護者と共に交流棟運動会を行いました。今回は保護者の方も参加し、利用者、職員と一緒に気持ち良い汗をみんなでかきました。今回はB2ユニットが優勝しました。B2ユニットの皆さんおめでとうございます。次回の開催が楽しみです。

第14回香川県障害者スポーツ大会



9月7日、香川県立丸亀陸上競技場で行われた香川県障害者スポーツ大会に参加しました。あいにくの天候でしたが、精一杯力を発揮しみごと優勝した利用者の方もいました。

亀鶴公園散策



9月3、5、18日、ウインドヒル、ケアホーム風見の家の利用者の方がグループに分れて亀鶴公園にハイキングに行きました。心地よい風が吹く中、それぞれのペースで亀鶴公園を散策し、近づいてくる秋を肌で感じてきました。

ポム・ド・パンの理念

障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。

嘱託医の講演会を行いました



7月24日、保護者会主催で嘱託医の星越先生のお話を聞く機会を得ました。精神科の患者さんは外部からの刺激をコントロールして、安心と安全を確保する配慮が必要なこと。

また自閉症など治療法の確立していない症状については、対症療法(表面的な症状の改善・緩和を目的とする治療法⇔原因療法)的に使用されることなど、基本的で大切なことについて再認識することができました。

看護主任 金川 恵子

主な研修報告

● 第55回中国・四国地区知的障害者関係職員研究協議会

7月4・5日

鳥取県



今回、研修会では発表者として参加することとなり、分科会テーマ『障がい者の多様化へ施設はどう対応していくのか』のもと、『～利用者の障害特性に応じた個室ユニット制の有効性について～』について発表させていただきました。

私自身、初めての研究発表ということであれこれと悩む中で上司からは、「ただ素直にウインドヒルが取り組んできたこと。支援の理念を伝えることで大丈夫。」と励まされ発表当日まで資料作りに取り組みました。

当日、打ち合わせから発表終了までアツという間に過ぎました。その中でも他施設の発表者、司会者、助言者の皆さんからの自閉症についての質問や考えは、私が思っていた以上に認識が違っていたことに驚かされました。

短い時間ではありましたが、出来る限りの自閉症の方との関わりの体験を踏まえ、ウインドヒルでの支援の考えをお伝えした後に、「とんごするようなお話を聞かされた」と賞賛していただいたことが嬉しく思いました。また同時に知的障害者に関わる方の中においても自閉症者への正しい認識や情報を共有していくことがどれだけ困難なことなのかを実感した瞬間でもありました。

この貴重な経験を必ず次へと活かして、より多くの方に自閉症者に対する正しい理解をしていただけるように現場支援のみならず、様々な場面で力を発揮していきたいです。

副管理者 鈴木 克幸

● 第21回自閉症セミナー

8月28～30日

東京都

ウインドヒルの利用者は成人しており、日々の生活や作業、行事等を通して身につけたことも多くあるため、利用者の行動と太田ステージという発達認知レベルにギャップがあると感じました。しかし利用者の発達段階を知ることは、支援する側にとって大きなヒントになることは間違いないと思います。

普段、利用者に関わっていると利用者の目に見える行動だけに注目しがちですが、その行動の裏側にある本来持っている障害特性や課題、自閉症特有の支援の困難さに目を向けるきっかけになると思います。

重度主任 竹内 俊介

● 平成25年度 九州・山口・四国自閉症施設協議会 職員研修会

9月19・20日

鹿児島県

今回は、「九州・山口・四国自閉症施設協議会 職員研修会」(今回は9施設が参加)に2回目の参加をし、分科会では「今後の施設の課題と取り組み」というテーマで研修を受けました。

参加施設がそれぞれにテーマに沿った発表をしたのちに全員で意見を出し合いながら情報を交換しました。他施設では、共通して「利用者の高齢化」に伴う日課や支援の課題がありました。先輩施設の中には、20年を超える歴史をもつところもあり、その中で現在、直面している課題はわたくしたちの施設の少し先の課題でもありますので、興味深く聞かせていただきました。ウインドヒルの発表内容についても多くの職員からそれぞれの施設での経験を踏まえた回答やアドバイスをいただきましたので、今後の支援に活かしていきたいと思っております。

副管理者 鈴木 克幸

実習生を受け入れました

ウインドヒルでは毎年たくさんの実習生を受け入れています。実習の中で知的障害や自閉症を持つ利用者と関わることを通し、正しい知識、正しい理解、正しい関わりを自らの体験から学んで欲しいと考えています。今回、ウインドヒルで実習された学生さんから感想をいただきましたので掲載させていただきました。

高松大学 発達科学部 保育実習

6月10日～21日 (10日間)

2年 近藤沙耶香

今回の実習で、障害者の方と初めて深く関わることができました。最初はうまくコミュニケーションがとれるだろうかと不安でいっぱいでしたが、日を追うにつれて利用者さんとの距離が縮まっていくのが感じられて嬉しかったです。この実習で学んだことを忘れず、将来に役立てていきたいと思います。



2年 宇高 朱莉

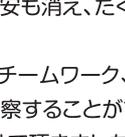
ウインドヒルでの実習を終えて、私の中にあつた「自閉症」という障害のイメージが変わりました。利用者の方が自分でできる事が多くて、驚きました。健常者よりも記憶力があつたり、知的レベルが高かつたりと障害がある方だとは思えないほどでした。でも、作業や入浴の際は、援助が必要となるので、個人に合った援助が必要でやりすぎはいけない事も学ぶことができました。この実習で感じた事や学んだ事をこれから生かしていきたいです。



2年 間島 千賀

はじめての実習で不安なことばかりでしたが、指導者の方や、利用者の方がとても温かい雰囲気だったので不安も消え、たくさんの事が学べたと思います。

専門職の具体的な姿やチームワーク、利用者の方の特徴など、身近で観察することができ、とても貴重な経験をさせていただきました。



2年 廣瀬 茉帆

今回の実習で、大学の講義だけでは得ることのできないことを非常にたくさん学ぶことができました。

また、職員の方が丁寧に御指導して下さいたため、利用者の方との接し方、支援の行い方について直接的に知り、学び、考えることのできた充実した実習となりました。



2年 久保 雄紀

初めての实習は緊張と不安がいっぱいありましたが、職員の方がとても親切に指導などをしてくれたおかげで、毎日新しい知識などを吸収できて2週間すごく充実し、厳しく実習に取り組めたと思います。施設の利用者の方は明るくて、元気な人がたくさんいたので、楽しく接していけました。



京都女子大学 発達教育学部 介護等体験実習

8月19日～23日 (5日間)

3年 北島 良美

5日間の介護等体験では、大変お世話になりました。職員の方や利用者の方の笑顔が印象的で、毎日が発見の連続でした。短かったですが、皆様と過ごした日々はとても充実していて演奏会も含め、心に残るよい思い出になりました。



3年 杉村 朱音

短い期間ではありましたが、様々な場で多くの利用者さんや支援員さんと関わることができ、毎日が本当に充実していました。ウインドヒルは、利用者さんも支援員さんもとても明るく、それぞれ身近に寄り添って関わっていたことが印象的でした。本当にありがとうございました。



その他、3月11日～15日 (5日間)、津田塾大学学芸学部介護等体験実習3年新見祐実さんを受け入れました。

職員コーナー

社会福祉法人 ポム・ド・パンでお世話になり9年目に入りました。月日はあっという間に過ぎ、ウインドヒルは来年12月に開所10年の節目を迎えます。仕事を始めたころは日常的に交わされている言葉の意味が分からず、言葉の意味を辞書で調べることから始めたのを懐かしく思い出します。

昨年4月にケアホーム風見の家が開所し、そこにサービス管理責任者として配属となりました。利用者が新しい家での生活を確立していく為に必要なルール役割を決めていく等、利用者・職員共に今までと全く異なる環境の中で心機一転新しい生活を始めました。「自己決定」という言葉に幾度となく悩まされました。

施設生活と一番異なる点は食事です。朝食と夕食は手分けして作っています。始めて1年半ですが、経験の積み重ねは確実に身につけています。又、新しい試みとして毎週1回 地域奉仕活動を始めました。地域参加の一環として出来る範囲で行っています。

先日(9月7日)、三谷町ふれあいまつりに参加しました。花火が始まるまで、1人として同じ方向を見ず自分の思い々に待ち時間を過ごしていましたがドン!!と花火が上がると同時に皆、華やかな光に見とれていました。自然と各々の表情も変わり釘づけでした。そんな利用者の表情を見た時、純粋な心の持ち主だなあと花火より利用者の表情に見とれている自分がいました。これからは、そんな利用者の心の声に耳を傾けられるような支援員を目指し一步一步前進していきたいと思えます。

ケアホーム風見の家 サービス管理責任者 和田真由美

使用済み切手回収のお願い

ウインドヒルの使用済み切手回収にご協力ください!!

何かの役に立てるよう、できることから始めよう。

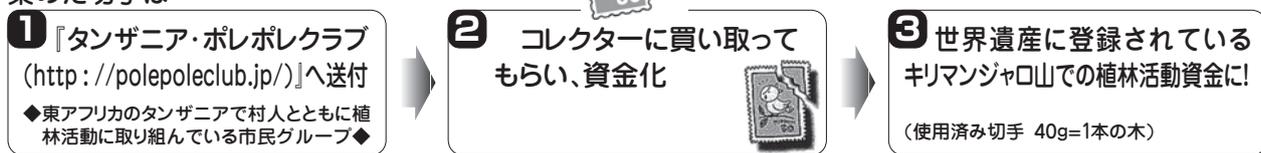


ポムくん

捨ててしまえばただのゴミ。集めることで誰にでもできる身近な国際協力活動に!!
皆様の周りの職場・学校・ご家庭・グループなどで呼びかけ、ご協力いただけると幸いです。

Q 使用済み切手はどのように役に立つの?

集めた切手は・・・



Q どんな切手を集めているの?

*成果はタンザニア・ポレポレクラブ様のホームページにて紹介されます。

○	国内の使用済み切手 外国の使用済み切手 未使用の切手	×	破れた切手 官製はがきの切手部分 料金後納郵便、料金別納郵便のスタンプ メール便のシール
---	----------------------------------	---	---

〈切り取り方〉

- ・切手の周りを 0.5~1cmほど切り取ってください。
- ・台紙はそのまま結構です。封筒やはがきから剥がす必要はありません。
- ・スタンプ(消印)が切れてしまっても大丈夫です。



0.5~1cmくらい

〈分類〉

- ・日本の切手と外国の切手は分けてください。
- ・未使用の切手と使用済みの切手は分けてください。
- ・切手の枚数を数える必要はありません。



パンちゃん

切手は随時『ウインドヒル事務所』にて受付しています!!

グリーンカーテン

ウインドヒルでは毎年グリーンカーテンを作っています。夏場の日差しを遮り、エアコンの温度を少しでも上げられるようにしています。身近なこと、出来ることから夏場の節電、地球温暖化防止に役立てばと考えています。



社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

(敬称略・順不同)

◆個人会員 平成25年度 平成25年5月1日～平成25年8月31日

大川 和	土居 一郎	土居 慶子	土居 良助	土居 晶子	高木美枝子	美浦 称一	細井 千秋
武田 崇香	堀田 国彦	宮崎 光	三谷志津夫	三谷 文	三谷 ふき	三谷 周子	歳森登喜恵
高木 俊幸	大垣 博信	大西 規子	高橋由佐子	安藤美智子	石井 博文	兵頭 政菊	東川 貴洋
大西利喜子	後藤 博幸	後藤加代子	三谷由岐子	小林 篤司	小林真左子	森 ヨシ子	羽間由紀子
小山 裕介	小西 朋子	真嶋 方文	真嶋 邦子	西丸 喬善	安部 友紀	山西 明	松本 淳子
共同ガス	真鍋 康徳	池下 律子	森 里子	大熊 勉	細川 文子	石井 寛	柿内 孝子
柿内 浩樹	山西 大介	山本 清子	藤岡 剛	渡辺 恒子	中島千恵子	岡崎 太郎	三好 雄介
筒井 政志	西山 史郎	西山 圭子	西原 武夫	水谷 佳弘	武内 京子	中野 博子	築山 浩二
沖野 昌志	沖野 貴子	沖野 晴世	小松千賀子	上田 祐市	森 正幸	小山美千代	小山 洋介

◆団体会員 平成25年度 平成25年5月1日～平成25年8月31日

アカマツ(株)高松営業所 JF卓球クラブ 田中電気保安管理事務所 有限会社 晴天 アイ・プロジェクト

平成25年5月1日～平成25年8月31日現在、以上の方々に継続及び新規ご入会頂きました。
9月1日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させていただきます。
本当にありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とケアホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長年にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、多くの方々のご支援が是非とも必要なのです。

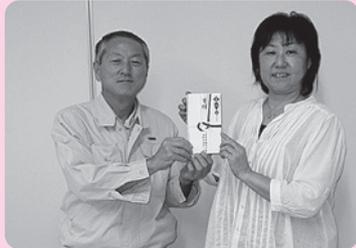
何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費 個人会員 一〇 3,000円 団体会員 一〇 10,000円

ご入金方法 郵便振替 □座番号 01690-3-74305 □座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

～暖かなお気持ち～

ありがとうございました



三和電業株式会社の職員さまよりご寄付を頂きました。



香川県共同募金会さまより椎草栽培用のビニールハウスを助成して頂きました。



地元の方よりもち米を頂きおはぎを作りました。

ウインドヒル「地域交流棟」を利用しませんか

スポーツ、芸術活動、100名程度の研修会などに使用できます。卓球(卓球台を備えています)、ダンス、音楽演奏などにご利用いただけます。利用料は無料。エアコン使用時のみ、光熱費として1時間につき500円必要となります。施設利用者に支障のない時間、地域交流棟を一般の方にご利用いただいています。

問合せ先：障害者支援施設ウインドヒル TEL：087-888-4277 050-3734-6707



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました！！
当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。
スマートホンでは右のQRコードから読み取れます。
アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

貸借対照表

平成25年3月末現在
(単位:千円)

資産の部		金額
流動資産		141,420
現金		125,017
未収預り金		16,262
貯蓄		141
立替		0
固定資産		520,863
基本財産		492,327
建物		486,117
土地		134,934
減価償却累計額		-128,724
その他の固定資産		28,536
構築物		920
機械及び装置		35,145
車両運搬具		2,667
器具及び備品		8,760
土地		12,353
減価償却累計額		0
権利		-34,123
その他の固定資産		46
資産の部合計		2,768
負債及び純資産の部合計		662,283

負債の部		金額
流動負債		3,684
未払金		3,684
固定負債		52,666
土地取得資金借入金		19,998
設備資金借入金		30,000
退職者給与引当金		2,668
負債の部合計		56,350

資産の部		金額
基本金		190,560
基金		190,560
国庫補助金等特別積立金		236,279
国庫補助金等特別積立金		236,279
次期繰越活動収支差額		179,094
次期繰越活動収支差額		179,094
(うち当期活動収支差額)		72,457
純資産の部合計		605,933
負債及び純資産の部合計		662,283

資金収支計算書

平成25年3月末現在
(単位:千円)

勘定科目		金額
収入	就労支援事業活動収入	1,088
	就労支援事業活動収入計①	1,088
支出	就労支援事業販売原価	897
	就労支援事業支出計②	897
収入	自立支援等収入	220,729
	生産活動事業収入	2,743
	経常経費補助金収入	277
	寄付金収入	3,560
	雑収入	1,616
	借入金利息補助金収入	531
	受取利息配当金収入	14
	経理区分間繰入収入	3,000
	経常収入計③	232,470
	人事業務費支出	110,655
	事業費支出	14,010
	借入金利息支出	24,338
	借入金利息支出	764
経理区分間繰入支出	3,000	
経常支出計④	152,767	

勘定科目		金額
収入	施設整備等補助金収入	4,650
	施設整備等寄付金収入	0
	施設整備等収入計⑤	4,650
支出	固定資産取得支出	4,855
	施設整備等支出計⑥	4,855
収入	その他の収入	71
	財務収入計⑦	71
	借入金元金償還金支出	5,833
	その他の支出	673
支出	財務支出計⑧	6,506

当期資金収支差額合計	73,254
前期末支払資金残高	64,481
当期末支払資金残高	137,735

※当季資金収支差額合計は①+③+⑤+⑦-(②+④+⑥+⑧)

保護者会コーナー

「嘱託医のお話し」に参加して

7月24日にウインドヒルの嘱託医でもある、星越先生のお話しを聞く会に、参加しました。先生のお話しの中で、「治る薬はない!」という言葉が強く心に残っています。わかっているつもりですが、正直ショックでした。精神科の薬は、状態をおさえる事は出来ませんが、病気のものを治すわけではないのです。大事なのは、薬と上手につき合いながら、子供の助けをしようという話でした。でも薬は大切で、調子が良いからといって、安易にやめるのは危険です。先生の指導のもと調整してもらいながら、長くつきあっていかなければいけません。

これからも、支援員さん達の手を借りながら、少しでも落ち着いた生活を送れるように私達保護者も子供にかかわっていきたいと思います。

御支援、御指導よろしくお願ひします。

堀田富美代

お願い

現在ウインドヒルでは利用者の作業が減少してきています。利用者の方たちはそれぞれの能力を活かし、様々なスキル身に付けてきました。軽作業や農作業、清掃活動など利用者によって出来ることがあればご一報ください。

編集後記

うだるような暑さが続いた夏も終わり、秋めいてきた今日この頃、ウインドヒルでは朝晩は寒い位になりました。今年も10月27日、日曜日に第8回地域とのつどいを開催いたします。地域とのつどいも回を重ねるごとに盛大になってきています。是非たくさんの方にお越しいただき、ウインドヒルの楽しい雰囲気を感じてもらえればと思っております。たくさんの方々のご来所をお待ちしております。



メリー♀(年齢非公認)
2006年12月にウインドヒルに来ました。



モモ♀
2006年1月生まれ

「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に生まれ、また、次の命を生み出していきます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかり根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く・たくましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。